

# 三島駅南口周辺開発 地下水対策検討委員会

## 第9回委員会

### -第8回委員会の概要等について-

令和5年11月27日(月)

# 1. 第8回委員会における

---

## 主な質疑・応答の概要

# 1. 第8回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(2)地下水調査結果	<p><b>委員：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西街区北側・西街区南側2箇所の井戸の調査を2023年3月で終了すると説明があった。これまでと異なる地下水位変動が確認された場合は、調査が可能との説明であったが、どこでどのような状況変化があったときに調査を実施するのか。</li> </ul> <p><b>委員長：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B-6(北側)とB-9(南側)の地下水位は互いに対応したような変動を示している。</li> <li>これまでと異なる地下水位の変化傾向が見られた場合などに、西街区北側・西街区の南側観測井戸で調査を行うことになると考える。</li> </ul>	<p><b>応答：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の地点で水位上昇、水位低下などが顕著に現れた際に、水位を確認する。</li> <li>必要に応じて測定できる状態にしている。</li> </ul> <p><b>対応：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと異なる地下水位の変化傾向が見られた場合に、西街区北側・西街区南側の観測井戸で調査を行う。</li> <li>調査結果を資料2「2. 三島駅周辺地下水調査結果」に示す。</li> </ul>

# 1. 第8回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.21)	<p>委員:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物完成後に親杭横矢板壁を撤去するか。</li> <li>• 地下水の流れを阻害する要因となり得るものは残置しない方が良い。</li> </ul>	<p>応答:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 横矢板は撤去するが、H鋼は残置する予定である。</li> <li>• 西街区では、地盤の溶岩層が固いことから、親杭横矢板壁を使用せずに施工したと聞いている。</li> </ul>
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.30)	<p>委員:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 第7回委員会で質疑のあった建物構造の安全性に関する地震時の支持層の安全性評価は、第9回委員会にて対応するか。</li> </ul>	<p>応答:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 第8回委員会では検討方針を説明した。</li> </ul> <p>対応:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 詳細を資料3「7. 事業関係者へのヒアリング結果（構造検討）」に示す。</li> </ul>
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.30)	<p>委員:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• A棟に設置する免震層について、変形量を550mm以内で計画とあるが、実際は700～750mmで設計すると考えられる。設計条件も含め、超高層建築物構造性能評価委員会で詳しく諮られるため、整理が必要である。</li> </ul>	<p>応答:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 実際に700mmで設計する旨を確認している。</li> </ul> <p>対応:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 詳細を資料3「7. 事業関係者へのヒアリング結果（構造検討）」に示す。</li> </ul>

# 1. 第8回委員会における主な質疑・応答の概要

	質問等	応答、今後の対応等
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.30)	<p><b>委員:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長周期地震動についてはどのような検討状況か。</li> <li>長周期地震動を免震装置で抑制する際は、免震層のクリアランスに注意する必要がある。</li> <li>免震層は製品の個体差があるため、事業者にしっかりと評価、設計していただきたい。</li> </ul>	<p><b>応答:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計の対象として検討を進めている。</li> <li>超高層建築物構造性能評価委員会等公的な機関での認定を受ける際、可能な限り対応する。</li> </ul> <p><b>対応:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細を資料3「7. 事業関係者へのヒアリング結果（構造検討）」に示す。</li> </ul>
(3)三島駅南口東街区市街地再開発事業の進捗状況等について(P.10～14)	<p><b>委員:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規地盤調査としてNo.6～No.9を実施したが、溶岩層の分布は当初の想定通りであったか。新たに確認できた事項はないか。</li> </ul>	<p><b>応答:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東街区北側の溶岩層の分布範囲を更新した。基本的な地質構成は変わらない。</li> </ul>